

た報
第10号

上野東部だより

2008年12月15日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999

特
集
号

わが街を笑顔で結びゆめ集い

東部地域フェスタ2008

10月18日(土)・19日(日)於・東小

緑ヶ丘中・吹奏楽部のファンファーレで幕開け
2,500人が参加



10月18、19日と市立上野東小学校で開催された東部地域フェスタ2008は、両日も秋晴れに恵まれ、多数の参加者で多に賑わいました。

今回はじめての取り組みでしたが、自治協議会、東小学校児童、地域内の学校や幼稚園児、保育園児、公民館サークルや協賛企業の方々による演奏やダンス、展示、実演、体験、即売、さらに講演と多彩な催しとなりました。

ポニョ♪ ポニョ♪ ポニョ♪

しろはと幼稚園児、思わず踊りだす

あどちゃっ
緑中吹奏楽部の3曲目「崖の上のポニョ」がはじまると、それまでしゃがんで聴いていた園児のうち10人余がすかさず前に出て踊りだしました。

誰に言われるともなく自発的で、しかも、主役の吹奏楽部員よりも出すぎず、演奏にも観客にも邪魔にならない位置取りで…。また、横一線に並んで愛嬌たっぷりに踊る姿に、中庭を幾重にもとりまいた観客が見惚れました。

この様子に、しろはと幼稚園の園長先生は、「ちゃんとわきまえて！年長さん、大きくなったなあ」「もうワタシうれして、うれして…」と、ウルウル(ToT)／＼



開会式には、市・浅井生活環境部長さん、西部地域住民自治協議会の八尾会長さんが来賓としてご臨席いただきました（写真右から順に）。

今高東部地域住民自治協議会会長の開会の挨拶があって、市長の代理として角田副市長が祝辞を述べて、花を添えていただきました。

（写真中央）

一人権講演会

「よう分かる話やったわ！即、実践や!!」

佐々山秀男あけぼの学園高校教頭先生は、「人権研修といえれば従来は暗いイメージだったが、明るいイメージに変えていく必要がある」と強調され、障害者用駐車場で健常者の心無い行為、食品偽装事件などビデオを駆使した説明、さらに、「お互い、相手の立場をよく理解することの大切さ」が浮き彫りになる内容が話されました。

お話を聴いた田端町の40歳女性は、「身近な問題から分かりやすくてよかったわ」と感想を話していました。



千の風になってを歌う
中尾範子さん



司会する早瀬福子さん

邦友会(箏・三弦・尺八) 笹百合(大正琴)
ゆりいろ会(文化箏) なかよし会(大正琴)

多くの観衆が熱心に聞き入っていました。「演奏に心を奪われました(農人町85歳女性)」「外にいても演奏が聴けるよう工夫されていてよかったです(荒木の35歳女性)。大正琴の調べにのって「千の風になってをうた(歌った)女性には、うっとりしたわ。やすらかなったわ」。また、園児とともに聴いていた女性は「昔の工工歌は子どもの心に残ると思う」など、多くの方からの感想が聞かれました。「大勢の方々に熱心に聞いてもって、これを弾みにNHK出演を夢にがんばります」(70歳代女性)と大きな希望を胸に…。

「発表する機会を設けてもって、ほんま嬉しく思ってます。もって知ってもらえるよう、交流を深めながら一層練習に励みます」(大植さん・30歳男性)と出演者からも喜びの声が開かれました。

みんなで歌おう音楽療法では、いろんな昔の歌を歌いながらセリフを覚えることで「脳の働きと回転がよくなったワ」と緑南の町井さん(女性)や「くんだりコロコロを歌っていてみんな可愛かった」と緑西町の小学生からも声援が寄せられました。



しろはと幼稚園児のダンス

元気な忍者衣装姿での忍者ダンスには、「園児は勿論、指導された先生方のご苦労も大変だったと思います」「忍者の街にふさわしく、全国へ発信するためにも、幼児への期待でいっぱいです」と、70歳代の男性が将来を楽しみにしながらニコニコ。ハロー！エムツスマイルダンスにも「ダンスがかわいかった♡」と、相生町の小学生の女の子。保護者の方は「地域の人に見てもらってホンマよかったわ」と。



体育館にも元気な子どもたちの声が



フロアカーリング…緑の的をねえ！赤VS黄が順番にフロアを滑らせる。第2投目からは、的から遠い順に。敵に当てて自分を的の近くに…！と、いう手も。でも気をつけて！狙いすぎて逆に遠のいてしまうかも。
ユニカール…的を狙ってマットの上を滑らせよう！手前の線を越さなければNG!でも、無効になったNG軍団が的の前で邪魔をする！



フロアカーリングしながら、「おもろいな〜！まっすぐいかへんもんやな〜」と初挑戦にいきいきとされていたのは77歳の男性でした。

ボウリング…チャンスは2回！もちろん倒れたピンが点数です。「ボウリング？それなら余裕！余裕！」という方。このボウリングはどうか？

体力測定…身長、体重はもちろん、家庭ではなかなか測定できない心拍数、筋肉率、骨密度、握力、さらにドキドキの(?)体脂肪率まで。



体力測定を終えた70歳代の女性(緑西町)は「骨、気になってたけど密度良かったわー安心したわ」。普段、自転車などでこへでも行ってるということでした。「水墨画や生花、すばらしい！」と感想を話しながらのご夫婦、体力測定に挑戦。普段から、奥様はテレビの体操、ご主人はグラウンドゴルフをしているというだけあって結果も素晴らしく…。

中庭にも人、ひと、人



「ええなア、好きな時間に好きなように植えて」個性豊かな寄せ植えなどに半ば「けなりそうに」感嘆している女性。そこでバツタリ出展者のひとりと目が合って「あらっ、あんたどうしてたん？」「ちよつと身体悪してたんやわ」と近況報告から始まって話は尽きずという一幕も。

ガーデニング 久しぶりの出会いも



“光る泥だんご” “モザイクアート” に行列

(INAX提供)

幼稚園児や保育園児、小学生に大人気。“光る泥だんご作り”では「子どもの興味をそそる体験。やりたいややりたい言うて」「モザイクタイルにも一所懸命でしたよ」とお母さんが目を細めていました。

なかでも“光る泥だんご作り”は一日で材料がなくなる盛況ぶり。二日目に来られた方には材料がなくなりがっかりさせてしまいました。

特に子どもさんが楽しみに来ていただいただけに申し訳ありませんでした。

風船ダ〜イ好き(〜♪

(上野ガス提供)

ガス展示車の前で風船が手渡されるとたくさんの小さな子が「わあ〜」と集まって。「風船もらえて子どもが喜んでネ」と若いお母さん。ホント、子どもたちに大人気。



新鮮市にも人だかり



比自岐自治協議会の野菜やお米

1時30分の開場が待ちきれない人たちが集まってくる盛況。先に買いたい物を物色し、始まると手にもって確かめつつ次々と買っていきました。

**魚のコーナーでは
サンマを何本も買う人も**
トレトレの魚や干物。海のない伊賀では嬉しい買い物。一人でどっさり買う人も見受けられました。



「ドーナツおいしかった(*^_^*)」とは、市内の小学2年生の女兒。こども列をつくって…。

「売り切れごめん」島ヶ原の柿も人気

みいもん
今年は実物が豊作とあってもぎたての柿も人気絶頂、「売り切れ御免」となりました。

パンジーなど 園芸品も

冬に花咲く鉢植えも。「これが目的で」(70歳代夫妻)と、あれやこれやと思索しながら買い物をしている姿に「味があるなあ」と思わず取材班もつばやきました。



孫の試乗を見守っていたおじちゃん。係員に「いつも巡回ご苦労さん」とねぎらいの言葉をかけてくれました。

はしゃぐチビっ子 「青ハト試乗」



展示コーナー 玄人素足の出来栄えに目をバチクリ



「わあ、スッゴ〜」

東小児童作品の絵、書道などに感嘆

市内の小2の姪とともに来場の緑ヶ丘の女性は「絵を見せてもらっていたらこの子が『上手やなあ』と感心することしきりでした」と話していました。



自分の作品の前でポーズ！カシャ！



これが「わたしの作品」と満面に笑み…
みどり・みどり第2保育園
児のねんど細工の焼物
保育園児のねんど細工の作品の前で。

達成感に酔う
ハンドメイドサークルでエコバッグづくり

なかなかこういう機会がないとツールベイントなど専用の道具を用意しないとできません。先生に一筆、一筆、描き方を教えていただきながらゆったりとした時間をすごし、何とか完成！

他にも多くの親子連れや子どもたちが参加していましたが、「自分で作ったちゅう、達成感はいいもんですね」と親御さんも異口同音に。

屋内の体験コーナーにも、わんさと！



可愛いアクリルたわしに夢中で

アクリルたわし体験、ふろしき活用術展示、さらに、矢谷川に生息する川魚及び水槽との三角形のレイアウトがよく、とても興味深い一角でした。

「年配の方は、昔を思い出しながらゆっくりと、そして、指先の運動もかねて編んでいました」。「若い親子連れで、鉤針を持つのも初めてという小2くらいの女兒が、長い鎖編みを練習して、そのまま綾取りの輪にしていました」とは先生の話。

「お祭気分で、地域の方たちとおしゃべり…夢中で編んでいました」
(緑本町・40歳代)という女性の声も。

アクリルたわしは、その繊維の特質を生かし、洗剤なしで、食器から浴槽まできれいに洗えます。洗剤代を節約できて、尚且つ、環境にも良いというW効果!!しかも、カラフルでかわいい♡あなたのご家庭にも一ついかがですか>_<



褒められて気分よく

組紐体験の小学生…次々「体験」に挑戦!

組紐体験をしていたとき「すごい!覚えが早いねえ」と言ってもらったことがきっかけに、気分よく調子も乗ってきて、なんとアクリルたわし編みから、防災すきんを縫い、エコバッグにトールペイントでかわいい絵を描き…親子でフェスタを満喫しましたとは、緑本町の親子連れ。

！複合災害発生！…市街地が被災 防災訓練にも100名が参加

市街地における複合災害に対応する防災訓練が、フェスタ開催中の19日に執り行われました。

フェスタに多くの要員が必要な中、別途、これに取り組めたことは胸を張れることではないでしょうか。

この日の訓練参加者は、東小から緑中までの避難訓練から始まって、バケツリレーによる消火訓練など本番さながらに大規模訓練を体験しました。

各町内でも訓練をしていることと思いますが、もしものことが起きたときに役立つものです。これらの取り組みにはみんな積極的にご参加下さい。



矢谷川の魚取りに朝から奮闘… 環境保全部会員

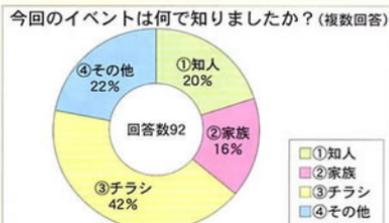
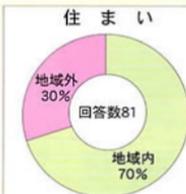
とりわけ子どもたちが喜んだものの一つに、大きな水槽に入れられた矢谷川の魚たち。緑中の淡水の水生動物とともに周囲では歓声があがっていました。そこで、以下は、取材班が環境保全部会の房川さんにお聞きした部会員奮闘記。取材班との対話です。

部会員が一日前にタマ（タモ）でシャクったり（捕ったり）、張り切り（刺し網の一種）で捕ってきたそうです。が、「ちょっと少ないでえ」ちゅうことで、「一人張り切りを携えて朝霧立ち込める矢谷川へ行ってきたんや」「そやけどこんねんようけ魚いるとは思へんだわ」とあらためて水槽を覗いて「ホンマやなあ、モツパイ（カワムツ）、シラハイ（オイカワ）がようけいるし、ミゴイ（ニゴイ）、スナホリ（カマツカ）からザリガニまで。外来種のおオクチバスもいてびっくりしたわ。きれいな水にすむ魚が意外と多いことも不思議やね。汚れた水に強いと思われていた「フナやらナマズやらはいやへんし」と。

みんなが望む「ホタルのすむ川」を実現するまでがんばらなアカンな～！と目標を掲げて…。

東部地域フェスタ2008（平成20年10月18、19日開催）

来場者アンケート集約



なにを目的にこられましたか？（複数回答）

